

SCU 通信

当センターでは今年度より神経内科に血管内治療医が赴任し、従来より、さらに充実した体制で脳卒中治療を提供できると考えています。

脳卒中を疑う患者さんがおられましたら、いち早くご連絡をよろしくお願いたします。  
(SCU ホットラインをご利用ください。)

脳神経外科 部長 西尾 雅実

脳卒中カンファレンス

当センターでは、医師（神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科）、看護師、リハビリ技師（PT・OT・ST）、薬剤師、ソーシャルワーカーが一同に会し、毎週カンファレンスを行い、情報共有に努めています。



市立豊中病院 脳卒中センター

【7月の外来診療スケジュール】

診察室		月	火	水	木	金	
脳神経外科	1診	午前	西尾	紹介のみ(交代)	矢野	高野 <新任>	紹介のみ(交代)
	2診	—	—	—	—	紹介のみ(西尾)	—
神経内科	3診	午前	巽	瀬川	森谷	杉浦 <新任>	荒木 <新任>
		午後 (予約のみ)	森谷	—	—	—	巽

<脳卒中センター SCU ホットライン TEL 06-6858-3517>

紹介患者さんの診療予約・検査予約は、地域医療室までFAXにてお申し込みください。

地域医療室 FAX 06-6858-3555 TEL 06-6858-3597

平素よりお世話になっております。当センターでは多くの医師の異動がありましたが、新鮮な気持ちで診療に取り組んでおりますのでよろしくお願いたします。SCU 通信第2号をお届けいたします。

脳梗塞超急性期の血管内治療

脳梗塞発症早期に血流を再開させることは、もっとも効果が期待できる治療です。2005年以降、血栓溶解薬（t-PA）静注が日本でも使用できるようになりましたが、内頸動脈や中大脳動脈といった主幹動脈が閉塞している場合には血栓が溶けず、血流が再開しないため効果が不十分であることがわかってきました。そこで、血管内に血栓除去器具を入れ、物理的に血栓を除去する方法が考案されましたが、器具の完成度が低いこともあって、効果を証明できない状況が続いていました。

数年前に登場したステントリトリーバーにより状況は一変しました。（図1）通常ステントは患部で切り離して留置しますが、ステントリトリーバーとは「切り離せないステント」の形状をしており、ステントにからめとった血栓を体外に除去する装置です。

器具の完成度が高く、早く確実に除去できるようになり、再開通率、再開通までの時間は飛躍的に改善しました。昨年、発表された多くのRCTで効果が証明され、米国のガイドラインでは「行うべき治療」との位置づけになりました。



図1. ステントリトリーバー(Trevo®)

自験例でもステントリトリーバー導入後、自立した生活をおくれるまで改善した方が増えています。（図2）

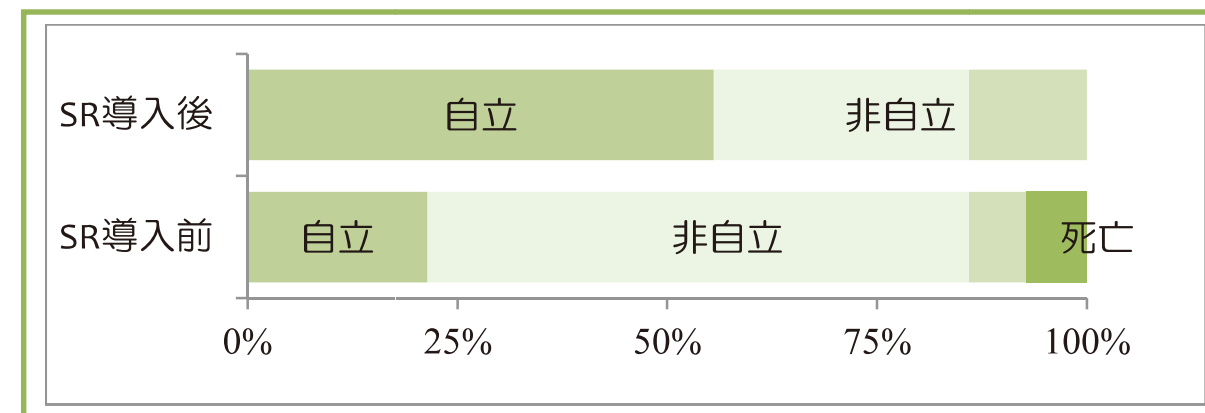


図2. ステントリトリーバー(SR)導入前後の主幹動脈閉塞例の治療成績(自験例)

自立:mRS 0-2、非自立:mRS 3-5、死亡:mRS 6